

## 主催 かごしま建築BIM研修会

### 県主 建築職員らメリット知る

県が主催する「かごしま建築BIM研修会」が2、3日、鹿児島市の県青少年会館であった。県市町村の建築職員約60人が参加して、BIMのメリットや基礎知識を学んだ。

研修会は、発注者に国や県の取り組み、設計な

どに触れ、その効果を知ってもらおうと企画。

県土木部建築課営繕室の和田克則係長が、県の事業、BIM推進会議の取り組みを説明した。また、県建築士事務所協会の東野幸史良常務理事（ゲンプラン設計）が、基本・実施設計の事例を交え、



県市町村の発注者が参加して、事例や演習など基礎知識を学んだ＝鹿児島市の県青少年会館

発注者と早い段階で合意形成ができるなどスピーディーなやり取りを紹介。「設備の配置や屋根の勾配などその場で打ち合わせができる。また3次元や動画を作成することで共有も図りやすい」とメリットを挙げた。

このほか、県内の設計事務所（ixrea、ゲンプラン設計、志賀設計室、西野設計）が、国土交通省

者BIM試行型）の一環として演習を実施。参加者らは、ソフトを使用して建物モデルの外観、内観などの閲覧や干渉チェックを確認するなどした。

県建築課の渡島秀夫営繕室長は「まずは知ってもらうきっかけになればと企画した。より生産性が向上して若い世代が働きたいと思えるようになればいい」と話した。

の「2022年度BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業（中小事業